

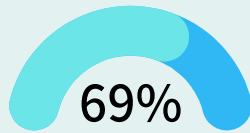
授業評価アンケートデータから考える福岡教育大学 授業改善

授業評価アンケート結果

授業方法・内容の改善を図り学生の皆さんにとってより良い学習環境につながるよう、考えております。授業は、学生と授業担当教員の双方の努力と協力によって作り上げていき、改善にもなれるよう取り組みます！

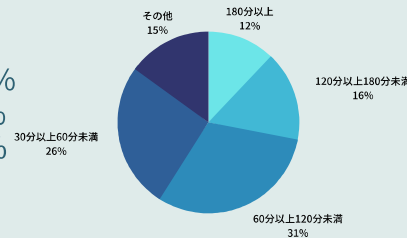
授業は教員が示した授業計画に沿って進行してたか？

そう思う！ 69%



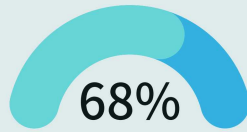
予習・復習に1週間あたり費やした時間は？

180分以上 12%
120分以上180分未満 16%
60分以上120分未満 31%
30分以上60分未満 26%



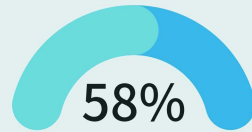
授業内容は、教員を目指す上で有意義でしたか？

そう思う！ 68%



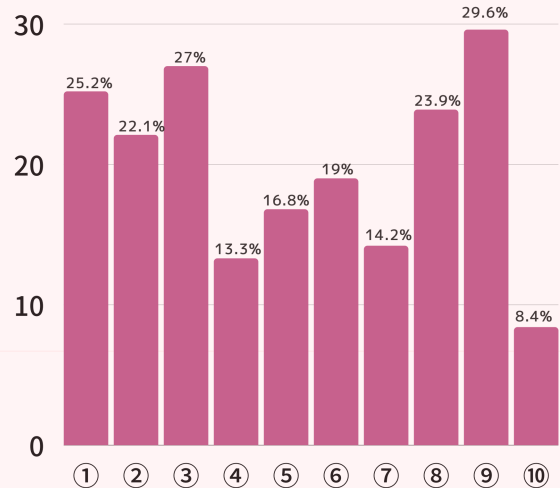
授業内容に興味・関心がもてましたか？

そう思う！ 58%



教員の改善案

- ① 予復習の指示を明確にする
- ② 授業の進行速度を調整する
- ③ 授業内容の難易度を調整する
- ④ 授業目的を明確に伝える
- ⑤ 成績評価の方法を明確に伝える
- ⑥ 話す内容を分かりやすくする
- ⑦ 板書、情報提示の見やすさの改善
- ⑧ 授業資料の配付の方法や内容を工夫する
- ⑨ 講義内容の精選を行う
- ⑩ シラバスの改善



学生間のディスカッションを多くしたい

遠隔授業における学生同士の意見交換、オフィスアワー等の活用

教員の自評

教員と学生間だけではなく、学生間でも評価し合える内容を取り入れること！

授業の進行速度を見直したい

ディスカッションを行い学生は積極的に取り組んでくれた

【ファカルティ デイベロップメント】

あまり聞きなれないと思う方がまだ多いのでは、起源は、米国にあり、日本では「教員が授業内容・方法を改善し、向上させるための組織的な取り組みの総称」とされています・・・

<お問い合わせ>

福岡教育大学 教育支援課
TEL:0940-35-1287
Email:kyouscho@fukuoka-edu.ac.jp
URL:https://www.fukuoka-edu.ac.jp/